

事業所における自己評価結果（公

事業所名 Shining Days

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100			気候により公園に連れて行くなど、体を動かす場所を確保している。
	②	職員の配置数は適切である	100			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		43	57	必要が生じた場合には配慮する。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	29	71		非常勤の者も多く参画できるようにしていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	86	14		常に保護者からのご意向を把握するようコミュニケーションを取るようになっている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		100		今回が初回の自己評価となるため、まだ公開されていない。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			100	今後第三者による外部評価を行うか考える。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100			外部の研修に参加したい職員にはシフトなどの考慮をするようになっている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	100			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100			職員間でアイデアを出し合っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100			長期休暇には平日ではできない様々な体験をもらえるように支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	100			
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100				
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100			支援内容を記録して保護者にも共有している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	71	29		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100			送迎時に可能な限りコミュニケーションを取るようになっている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	28	29	43	該当者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	29	14	57	今後積極的に情報共有と相互理解に努める。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		57	43	該当者なし
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	28	29	43	なかなか交流の場を持つ機会が作れないが、イベントなどで交流できるよう考えていく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	71		29	案内があるとき以外でも積極的に参加するようにする。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100			
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	57		43	ペアレントトレーニングを今後取り入れていくようにする。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100			
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100			
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		29	71	今後保護者同士の交流の場を設ける。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100			何かトラブルがあった際には迅速に対応できるようにしている。
㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		100		会報ではなく、お知らせという形になっているため、定期的な会報というものに関して考えていく。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑳	個人情報に十分注意している	100			
	㉑	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	100			
	㉒	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っている			100	事業所のスペースの問題でイ ベントへの招待などが出来ていな い。学生ボランティアは受け入 れている。
非常時 等の 対応	㉓	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知している	100			
	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	100			
	㉕	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	100			
	㉖	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し理解を得た上で、放課 後等デイサービス計画に記載している	29	71		記載が必要な利用者 だけになっているの で、可能性がある場合 として記載するようにし ていく。
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている		71	29	該当者が出てきた場合に は、対応していく。
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	100			

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。